

## 平成23年度の実施状況について(共同活動支援交付金)

## 1-1 平成23年度活動組織の状況

	活動組織数	構成員数		共同活動面積 (協定面積) (ha)	対象農用地面積 (ha)	関係市町村数	
		(人)	農業者 (人)				非農業者 (人)
尾張地域	15	9,930	2,236	7,694	632	619	9
一宮地域	39	28,453	5,869	22,584	2,458	1,839	5
海部地域	55	23,128	4,081	19,047	3,661	3,298	6
知多地域	32	42,216	5,189	37,027	2,292	2,215	10
西三河地域	108	181,395	18,798	162,597	7,312	6,911	7
西尾幡豆地域	8	24,309	9,603	14,706	3,987	3,392	1
豊田加茂地域	52	37,135	6,364	30,771	2,541	2,502	2
新城設楽地域	20	5,318	995	4,323	532	521	2
東三河地域	36	22,352	5,999	16,353	4,705	4,699	4
合計	365	374,236	59,134	315,102	28,120	25,996	46

※構成員数はH19時点

## 1-2 平成23年度支援交付金(助成)の額

○平成23年度共同活動支援交付金の総額は1,024,312千円。

○平成23年度利息等の総額は10,684千円。

○前年度からの繰越額の総額は171,253千円。

●平成23年度の活用可能総額は**1,206,249千円**。

(単位:千円)

	支援交付金 A	利息等 B	前年度繰越 C	合計 D=A+B+C
活用可能額	1,024,312	10,684	171,253	<b>1,206,249</b>

2

## 1-3 活動状況実績(平成23年度実績)

### ① 基礎的活動

#### 内容

農地や農業用水路等の維持保全のために必要な基礎的活動。

- ・ 水路の泥上げ、草刈り
- ・ ため池の見回り、清掃、草刈り
- ・ 農道の草刈り、砂利敷き など

3

## □ 基礎的活動(実績)

- 基礎的活動において対象となる全ての項目を満たしており、要件を達成している。
- 活動項目数は**昨年度と比較してほぼ横ばい**であり、引き続き、基礎的活動が実践されている。

対象となる  
活動項目

4,085項目

(平均11項目/組織)

実績

平成23年度は、**4,085項目**を実践。

・水路の泥上げ、草刈り 等

= **4,085項目** ÷ 4,085項目

= **100%** 要件達成  $\geq$  100%(要件)

要件

農地や施設の維持保全のために必要な基礎的な活動として、“**対象となる活動項目**”  
を全て行うこと。

4

## ② 農地・水向上活動

内容

農道や農業用水路等の施設のきめ細やかな  
保全管理活動。

- ・ 施設の機能診断
- ・ 劣化部の補修 など

5

## □ 農地・水向上活動(実績)

○農地・水向上活動において対象となる活動項目は13,766項目。

○平成23年度に実践された活動項目は9,701項目(70.5%)であり、要件を達成している。

○活動項目数(実績)は昨年度と比較してほぼ横ばいであり、引き続き、農地・水向上活動が実践されている。

対象となる  
活動項目

13,766項目

(平均38項目/組織)

実績

平成23年度は、9,701項目を实践。

- ・水路やため池、道路の機能診断、初期補修
- ・各施設の雑草対策
- ・水路のゴミの除去 等

= 9,701項目 ÷ 13,766項目

= 70.5% 要件達成  $\geq$  50%(要件)

要件

農道や農業用水路等の施設の長寿命化につながるきめ細やかな保全管理を行うため、“対象となる活動項目”のうち、50%以上の項目を実施すること。

6

## ③ 農村環境向上活動

内容

生態系保全、景観形成など農村の環境を良くする活動。

- ・ 生き物調査、ホタル等の保全
- ・ 周辺の植栽
- ・ 水質モニタリング など

7

## □ 農村環境向上活動(実績)

- 平成23年度に実践された活動テーマ数は427テーマ。
- 活動組織は平均で1.2テーマ実施しているため、要件を達成している。
- 活動テーマ数(実績)は昨年度と比較してほぼ横ばいであり、引き続き、農村環境向上活動が実践されている。

### 実績

平成23年度は、427テーマを実践。

- 【テーマ項目】
- ・生態系保全
  - ・水質保全
  - ・景観形成、生活環境保全
  - ・資源循環
  - ・水田貯留、地下水かん養

= 427テーマ ÷ 365活動組織

= 1.2テーマ 要件達成 ≥ 1テーマ(要件)

### 要件

生態系保全、景観形成など農村の環境を保全するため、5種類のテーマから1テーマ以上を選択し、実際に活動すること。

8

## 1-4 共同活動支援の年度別推移

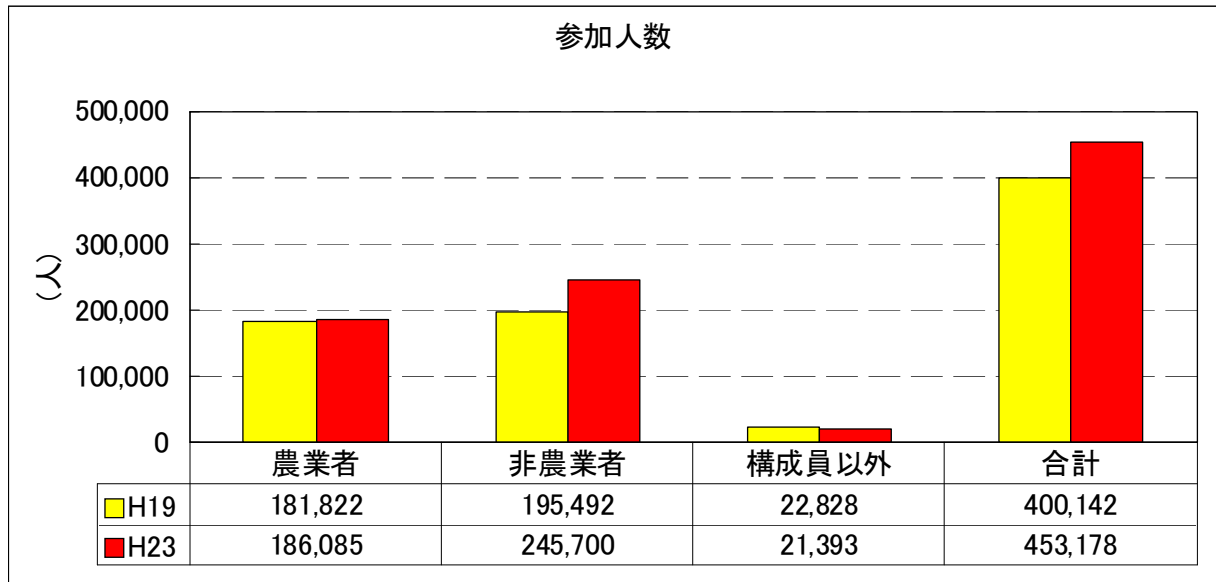
### (1) 対象農用地

- 平成23年度の対象農用地面積は25,996ha。(対前年比99.7%)
- 平成19年度の対象農用地面積と比較して、99.1%となっており、愛知県の農振農用地の減少比率(93.3%)と比べ、減少率は小さい。

年度	事業費(千円)	対象農用地面積(ha)			愛知県 農振農用地面積(ha) B	農振 カー比率 C=A/B
		A	田	畑		
H23	1,024,444	25,996	18,417	7,579	62,153	41.8%
H22	1,025,416	26,076	18,451	7,625	62,429	41.8%
H21	1,026,464	26,104	18,472	7,632	62,577	41.7%
H20	1,029,480	26,174	18,538	7,636	63,611	41.1%
H19	1,031,524	26,227	18,573	7,654	66,618	39.4%

## (2) 参加人数

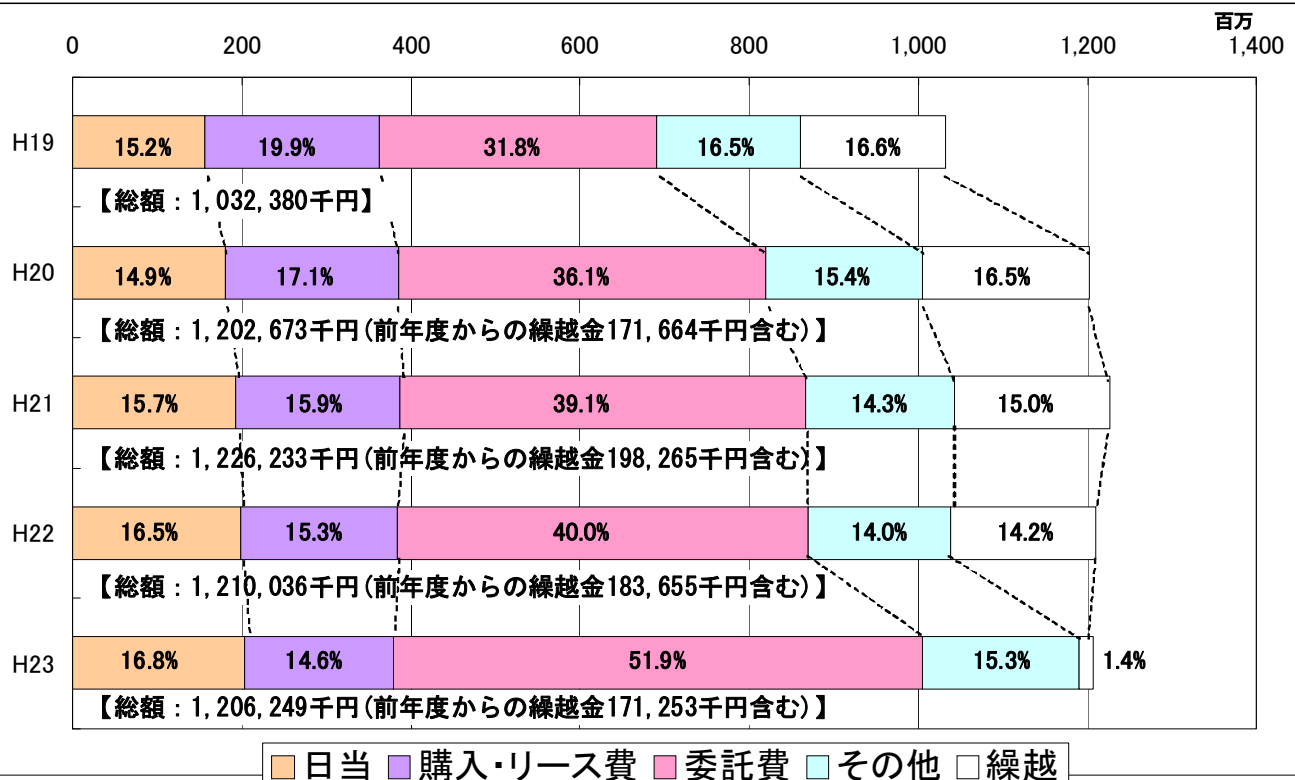
- 平成19年度と比較して、参加人数は約53,000人増加している。
- 特に非農業者の参加人数が約50,000人増加しており、増加人数の約95%を占めている。



10

## 1-5 共同活動支援交付金の支出内訳

- 支出内容としては、「委託費」が最も多く、昨年度より約12ポイント増加した。なお、委託費が増加した理由は、繰越金が約13ポイント減少し、それ以外の支出項目に大きな変化がないことから、繰越金を活用し、最終年度に計画的に工事委託されたと考えられる。



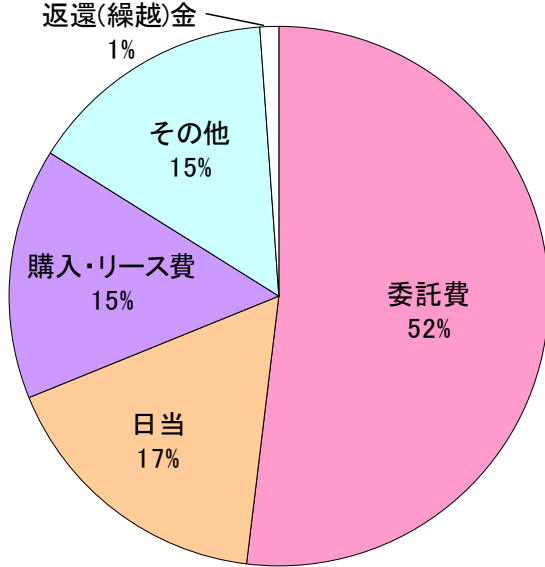
11

## □ 平成23年度共同活動支援交付金の支出内訳

○支出内容としては、「委託費」が最も多く、次いで「日当」、「購入・リース費」、の順となっており、委託費は12ポイント上昇した。

活動組織の支出内訳

支出総額:約12億1千万円(前年度繰越金含む)



費目	内容
委託費	建設業者等への作業委託 活動記録の整理や報告書の作成などの事務委託
購入・リース費	機械経費、物材費、文具・使用料などの活動に要する費用
返還(繰越)金	平成23年度末の残高 (国、県、市町村に返還済み)
日当	活動参加者に対して支払った日当
その他	上記以外の組織運営のために必要な経費。 (研修旅費、アルバイト賃金、燃料代、お茶・弁当代 など)

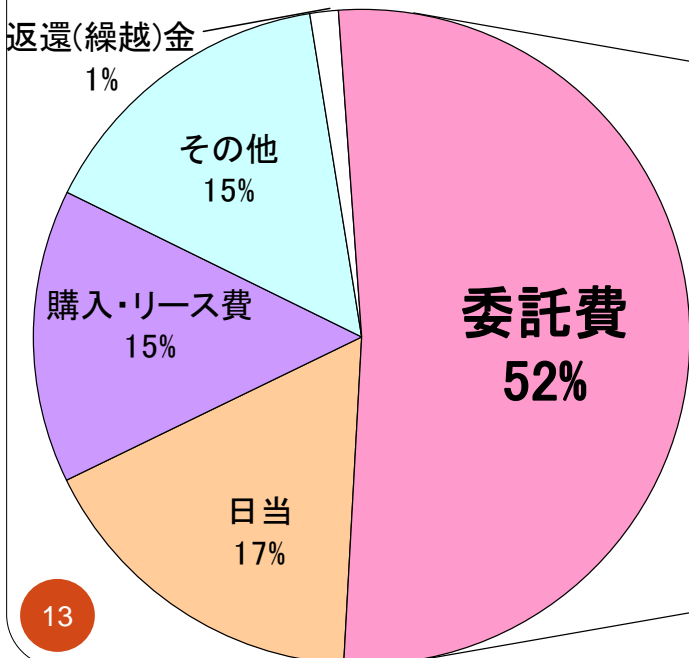
12

## □ 共同活動支援交付金の委託費支出内訳

○支出内訳で最も多く支出している「委託費」は、簡易補修の作業等にかかる委託が39%、事務等に係る委託が13%となっている。

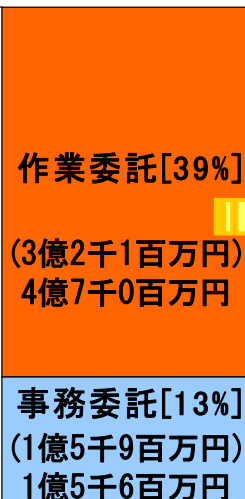
活動組織の支出内訳

支出総額:約12億1千万円



委託費の支出内訳

委託費総額:約6億3千万円



活動組織では対応困難な高度な作業

水路  
改修  
浚渫  
土砂処分  
農道  
路肩整備  
等

( )は前年度の金額

13